

都市計画マスタープラン策定委託

特記仕様書

網 走 市

都市計画マスタープラン策定委託 特記仕様書

1. 計画の背景と目的

網走市では、平成 14 年度に概ね 20 年後を目標年次として都市計画の方針を定めた「網走市都市計画マスタープラン（以下、都市マス）」を策定し、都市施設の整備などを計画的に進めてきた。

その後 10 年以上が経過し、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来や環境問題など都市を取り巻く状況は大きく変化していることから、より一層の効率的な都市運営や安全・安心なまちづくりに向け、平成 27 年度から平成 28 年度にかけて見直しを行っている。

一方、国においては、平成 26 年 8 月に施行された「都市再生特別措置法等の一部を改正する法律」において、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方を基に、都市機能の集約と公共交通の充実等による持続可能な都市を目指した「立地適正化計画」が制度化された。

網走市においても、「都市マス」の理念と目標を踏まえ、これまで整備を進めてきた社会資本の有効活用や公共施設等の再編を含む都市機能の適正配置などにより、都市経営コストや環境負荷を抑えたコンパクトな都市を目指すためのより具体的なマスタープランとなる立地適正化計画を令和 3 年度に策定したところである。

本業務では、計画期間を迎えている都市計画マスタープランの見直しに向けて、地域別構想の策定と実現化方策の検討を行い、マスタープランの策定を行うことを目的とする。

2. 業務期間

本業務の期間は、契約日から令和 9 年 3 月 19 日とする。

3. 業務の内容

（１）全体構想（分野別方針）の設定

将来都市像及び都市の骨格構造を踏まえ、都市計画の各分野に係る基本的な考え方として、公園・緑地、都市施設等の基本方針と具体的な施策の検討を行う。

（２）地域別構想の設定

将来都市像及び都市の骨格構造、都市づくりの基本方針を踏まえ、地域ごとの特性・課題を応じた地域別構想の見直し検討を行う。

（３）実現化方策の検討

都市計画マスタープランの実現にあたって、行政と住民・民間企業・まちづくり団体等との役割分担、協働の取組方針の検討を行う。

（４）策定委員会の運営支援

本業務に関し、民間委員等により構成する策定委員会の運営支援を行う。

回数は 2 回を想定し、受注者は資料の作成、会議の出席、議事録の作成を行う。

(5) 庁内ワーキングの運営支援

本業務に関し、庁内関係課により構成する庁内ワーキングの運営支援を行う。
回数は2回を想定し、受注者は資料の作成、会議の出席、議事録の作成を行う。

(6) 地域懇談会の運営支援

地域別構想の見直しを行うための地域懇談会の運営支援を行う。
各地域が1箇所集まって2回開催することを想定し、受注者は資料の作成、会議の出席、議事録の作成を行う。

(7) 打合せ協議

本業務の打合せ協議は、3回を想定し、その他策定委員会、庁内ワーキング等の開催時に併せて実施するなど、必要に応じて適宜行うものとする。

4. 成果品

・都市計画マスタープラン（本編）	（A4版 印刷製本）	50部
・都市計画マスタープラン（概要版）	（A4版 印刷製本）	100部
・電子データ	（CD-R）	1枚